

第2専門部会

基本目標2 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

確実に到来する少子高齢社会を見据え、すべての区民が自らの能力を十分に発揮し、住みなれた地域で安心していきいきと暮らせるまちをつくります。区民（一人ひとり）、地域、団体、事業者がそれぞれの特性を発揮し、行政がそれを支援しながら地域で暮らす区民の幸せな生活を支えるコーディネート機能を高め、安心と支えあいのまちをつくります。

子どもたちを地域の宝として尊重し、産み育てやすい環境を充実させるとともに、子どもの健やかな成長と未来を支える、良好な教育環境をつくります。健康を支えるしくみづくりや、障がいをもつ区民への支援を行い、生きがいと学ぶ意欲を大切にすることによって、誰もが生涯をいきいきと過ごせるまちを実現します。高齢者が住みなれた地域で、健康で生きがいと尊厳を持って暮らせるまちをつくります。

第3専門部会

基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球にやさしいまち

地域は、区民一人ひとりによって構成され、支えられています。人やまちへの思いやりの心と規範意識を持ち、一人ひとりの力を「地域力」として発揮し、人と地球にやさしいまちをつくります。

区は、地域力を支え、さらに大きな力へと結びつける役割を積極的に担います。

個別目標1 地域力が、区民主体の人にやさしいまちをつくりま

区民一人ひとりが抱くわがまちへの思いを行動に変える力。この区民の力と自治会・町会や事業者、団体・NPOなどが有する実績や専門性を地域力として結集することで、安全・安心の暮らしやすいまちをつくります。

また、地域の歴史や文化、自然などの地域資源を地域力と結びつけることで、魅力あふれるまちをつくります。

個別目標2 私たち区民が、環境と経済双方における持続可能なまちをつくる担い手です

ものづくりをはじめとする大田区の特徴を活かし、環境と経済双方において持続可能なまちをつくります。そのためには、区民や自治会・町会、事業者、団体・NPO、区など地域を構成する全ての主体が、地球温暖化などの環境問題に対する認識を共有し、それぞれの責任と役割を担います。特に省エネルギーの推進や自然エネルギーの積極的な活用のほか、産業活動や日々の生活における廃棄物の発生抑制の推進など、限りある資源を大切かつ有効に活用する資源循環型のまちづくりに取り組みます。

また、大田区の地域資源である水辺環境を守り、緑化を積極的に推進するなど、水と緑の調和したまちをつくります。

個別目標3 区は、地域を支え、効率的で活力ある区政を実現します

区民に対する説明責任の徹底、区政情報の効果的な発信や、規律的・効率的な行財政運営の推進など、区政の透明性と効率性を高めます。

また、区は、区民に最も身近な自律した政府として、多くの区民が参画しやすい、活力ある区政を展開します。

さらに地域と行政が連携・協働することで、区民自らが地域の課題を解決できる仕組みをつくります。

第1専門部会

基本目標1 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

これまで築き上げてきた都市環境や地域産業の蓄積を土台に、快適な暮らしと創造力あふれる産業とが同居する豊かな都市空間を形成し、未来に向けて輝き続けるまちをつくります。

また、豊かな水辺環境、羽田空港の再拡張・国際化や、高度技術の集積などのまちの魅力の向上によって、区内外から多数の来訪者が集まり、多彩な交流活動が行われる活力あるまちを実現します。

個別目標1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

大田区の中心である大森、蒲田、そして羽田空港周辺については、個性と魅力に溢れた賑わいあるまちづくりを進めます。区内の各地域においては、住民、企業、行政などが一体となって、将来の地域のあり方について考え、実践していく新たなまちづくりに取り組みます。

水辺や緑など身近な自然環境と触れ合う場を守り育てるとともに、景観や東京全体の環境にも配慮したまちづくりを行います。さらに、アートやスポーツをまちづくりに取り入れるなど、人々に潤いと活力を与える取り組みを進めます。

防犯・防災対策に配慮し、高齢者・障がい者・外国人など誰でも安心して動き回ることができるまちにするなど、安全で快適な暮らしを支えるまちづくりを進めます。

区内で暮らし働く人や来訪者が、快適に不自由なく移動することができるよう、交通環境の改善に努めます。そして、水と緑、ものづくりの集積、羽田空港の立地などを活かした集客・観光施策に取り組みます。

個別目標2 首都空港「羽田」と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

首都の玄関口である羽田空港を大田区の誇れる財産として活用し、アジアをはじめとした諸外国との国際交流を一層進めます。空港用地外となる跡地については、区民の意向を踏まえ、地域と空港とが共生できる視点からの有効利用を推進します。また、空港機能を十分に活用した新しい産業との連携を進め、大田ブランドの発信拠点としての展開を進めます。

臨海部、多摩川・呑川等の水辺空間の利活用を促進し、区民の暮らしとともに、首都圏全体が潤うような空間整備を図ります。また、水辺を活かした舟運など水上交通についての検討を進めます。大田区を訪れ、暮らす多様な文化的背景を持つ外国の人とともに、快適に過ごすことのできるまちづくりを進めます。

個別目標3 ものづくりから未来へ独自の産業と都市文化を創造します

ものづくりにおける高度な技術・技能を有する企業が集まるという地域特性を維持し、さらに発展していくため、人材育成や新たなビジネス創造に向けた仲介・支援などに取り組みます。また、国際化する羽田空港の立地を活かして、ものづくり創造都市としての大田ブランドを世界へと発信します。

高齢化社会を迎える中、身近な地域での快適な暮らしを支える商店街などの商業機能の活性化を図ります。区内外の人びとが集まる地区においては、競争力のある商業拠点機能整備を進めます。

個別目標1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします

未来を担う子どもの健やかな成長を願い、産み育てるための保健・医療体制を充実させるとともに、子どもと家庭のニーズに合わせた、子育てや保育の環境整備を進めます。地域を構成するすべての人々と行政がそれぞれの役割を果たし、手を携えて、子どもの成長と子育て世代を支援します。

学校では、子どもたちがのびのびと成長できる教育環境を整えます。地域の特性や多様性を尊重し、子どもたちが学ぶ喜びを知り、社会性と生きる力を身につける学校教育を実践するため、学校、地域、家庭などが力を合わせ、未来を担う子どもたちの学びを支え、教育力を高めます。

個別目標2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくりま

元気でいきいきした生活の基盤となる、心とからだの健康づくりを進め、安心して暮らせる生活環境を確保するため、医療関連機関や事業者、地域、行政の連携を進めます。

障がい者が自分らしく安心して暮らせるよう、地域での生活を見守り、支える仕組みと意識を育て、自立、就労、社会参加を進めるとともに、誰もが安全に移動し、生活できる、ユニバーサルデザインの視点を持ち、障がいの有無、年齢、性別、国籍にかかわらず誰にも優しいまちをつくりま

す。また、誰もが、生涯をはたつと生きるため、学習やスポーツの機会や環境を確保し、地域における自らの役割と生きがいを実感できる仕組みをつくりま

個別目標3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつ

くりま

高齢者がいつまでも健康な心身を保ち、長い人生で培った経験、技術や社会参加の意欲が地域で活かされ、生きがいと居場所を持てるまちをつくりま

す。また、生活に支えが必要となったときの不安を解消し、いつまでも住み慣れたまちに住み続けることができるよう、質の高い介護体制や家族への支援を充実させるとともに、高齢者を地域で見守る安らぎのまちをつくりま